

§ プログラム §

【企画セッション】

■ 6月17日(金)

● 基調講演 13:00~13:30 (A会場:国際会議室)

『どこでも MY 病院』

座長:高林 克日己 (千葉大学)

演者:野口 聡 (内閣官房 IT担当室参事官)

● 大会特別企画 13:30~15:30 (B会場:コンベンションホールB)

『東日本大震災と医療情報』

座長:高林 克日己 (千葉大学)

木村 通男 (浜松医科大学)

「震災と医療情報システム」

國井 重男 (東北大学メディカル IT センター)

「災害地医療支援と医療情報」

横井 英人 (香川大学医学部附属病院医療情報部)

「震災時のレセプトデータの活用と問題点」

山本 隆一 (東京大学大学院情報学環)

「医療情報の災害対策の切り口」

木村 通男 (浜松医科大学医学部附属病院医療情報部)

「緊急被ばく医療と放医研の活動」

安藤 裕 (放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院)

「病院施設における停電対策と節電対策」

中島 廣一 (東芝ソーシャルシステム・ファシリティーズ株式会社)

● シンポジウム 1 13:30~15:00 (A会場:国際会議室)

『シームレスな地域連携医療・どこでも MY 病院の課題』

座長:山野辺 裕二 (国立成育医療研究センター)

白鳥 義宗 (岐阜大学)

「どこでも MY 病院の実像と課題」

森川 富昭 (徳島大学病院病院情報センター)

「「シームレスな地域連携医療の実現」の特色と課題

医療圏や医療分野を越えた連携へ」

中島 直樹 (九州大学病院メディカルインフォメーションセンター)

●シンポジウム2 13:30~15:00 (C会場:中会議室201)

『医療機関に求められるデータ2次利用の形態とその実現に必要な基盤』

座長:奥原 義保 (高知大学)

本多 正幸 (長崎大学)

「医療用DWHの有効利用を目指した設計のあり方」

片岡 浩巳 (高知大学医学部附属医学情報センター)

「医療機関におけるプロセスデータの解析技術とその応用」

紀ノ定 保臣 (岐阜大学大学院医学系研究科医療情報学分野)

「診療データの二次活用による臨床評価及び研究基盤の構築」

松村 泰志 (大阪大学医学部附属病院医療情報部)

■6月18日(土)

●教育講演 13:30~14:30 (A会場:国際会議室)

『臨床知識を記述するオントロジー』

座長:田中 博 (東京医科歯科大学)

演者:大江 和彦 (東京大学大学院医学系研究科医療情報システム学分野)

●シンポジウム3 9:00~10:30 (A会場:国際会議室)

『広域医療における情報の統合と活用』

座長:紀ノ定 保臣 (岐阜大学)

大原 信 (筑波大学)

「大規模レセプトデータの分析と活用」

地域医療データバンクを活用した地域医療支援」

藍原 雅一 (自治医科大学地域医療学センター)

「医療介護連携データベースを用いた高齢者の入退院予測」

衛藤 徹 (高知大学)

「健診データを用いた将来の健康リスク予測と関連データのレコメンデーション」

紀ノ定 保臣 (岐阜大学大学院医学系研究科医療情報学分野)

●シンポジウム4 9:00~10:30 (B会場:コンベンションホールB)

『データの2次利用による業務改善』

座長:佐藤 ひとみ (北海道大学)

竹村 匡正 (京都大学)

「HISデータの可視化による業務改善」

志村 英生 (福岡大学病院医療情報部)

「病院薬剤部における医療情報データの二次利用」

下堂園 権洋 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部)

「看護の生産性を科学する ―看護情報の二次利用の可能性―」

宇都 由美子（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医療システム情報学）

●シンポジウム5 9:00~10:30 (C会場: 中会議室201)

『新しい携帯端末の医療への活用』

座長: 吉田 茂 (名古屋大学)

「iPad を用いた名大病院における救急トリアージシステム」

高橋 正樹 (名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター)

「高齢者総合機能評価(CGA)データベースシステム」

渡辺 浩 (国立長寿医療研究センター臨床研究推進部医療情報室)

「携帯端末を利用した災害時モバイル診療録参照システム」

山本 康仁 (東京都立広尾病院小児科)

●シンポジウム6 14:30~16:00 (A会場: 国際会議室)

『テキストマイニングの臨床への応用』

オーガナイザー兼座長: 鈴木 隆弘 (千葉大学)

座長: 村永 文学 (鹿児島大学)

「診療記録の監査」

嶋田 元 (聖路加国際病院医療情報センター)

「千葉大学医学部附属病院における診療文書の利活用の取り組み」

土井 俊祐 (千葉大学大学院工学研究科)

「記録監査と臨床実践能力評価への看護記録テキストマイニングの活用」

大崎 千恵子 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院看護部)

「HIS データを利用した症例検索エンジンの構築」

竹村 匡正 (京都大学医学部附属病院医療情報部)

●シンポジウム7 14:30~16:00 (B会場: コンベンションホールB)

『概念に対する標準コードの最近の動向』

座長: 奥 真也 (会津大学)

「診療情報システムにおける臨床病名 SNOMED-CT の現状と課題」

豊田 建 (株式会社 HCI)

「概念に対する標準コードの最近の動向—ICF」

藤田 伸輔 (千葉大学医学部附属病院地域医療連携部)

「ICD11 改訂とオミックスコンテンツモデル」

中谷 純 (東京医科歯科大学情報医科学センター)